

[プレスリリース]

2017年12月
UBMメディア株式会社

「統合医療展 2018」開催のお知らせ

～予防医学と補完・代替療法の専門展示会&カンファレンス～



会 期：2018年1月24日(水)・25日(木) 10:00-17:00
会 場：東京ビッグサイト 西3・4ホール
来 場 数：15,000人(予定・併催展を含む)
入 場 料：3,000円(招待券・来場登録で入場無料)
主 催：UBMメディア株式会社
同時開催：メディケアフーズ展、高齢者生活支援サービス展、保険外サービス展

医療関係者とヘルスケア産業をつなぐ展示会

わが国の医療費が40兆円を超えました。いま、医療施設、薬局、治療院らは、病気予防を支援する拠点としての機能を高めており、生活習慣病など慢性疾患の予防・対応においては、補完・代替療法の有効性が期待されています。

統合医療展は、ヘルスケア企業らが予防医学と補完・代替療法に関する製品・サービスを、医療関係者らに提案する、国内唯一の展示会です。

いま求められる、「統合医療」とは

2012(平成24)年度におこなわれた厚生労働省の「統合医療のあり方に関する検討会」においては、「統合医療」を「近代西洋医学を前提として、これに相補(補完)・代替療法や伝統医学等を組み合わせて、更にQOL(Quality of Life:生活の質)を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの」と定義しています。

(参考)国立補完統合衛生センター(米国)においては、「統合医療」を、「従来の医学と、安全性と有効性について質の高いエビデンスが得られている相補(補完)・代替療法とを統合した療法」としています。

【注目セミナー】

1月24日(水) 10:45-12:45 セミナー会場 E

特別シンポジウム「今、求められる医療とは？」

人工知能(AI)ワトソンが、東京大学医科学研究所に適切な治療法を助言し、白血病の女性を救命した。これは何を意味するのか？拡大する国民医療費、自己管理できない生活習慣病、原因不明の病態、難治性の疾患など現代医療には問題が山積している。次代の医療を担う医師達に、求められる医療について大いに語っていただく。

【第一部 講演】

川嶋朗(東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科 教授、一般財団法人東洋医学研究所附属クリニック 自然医療部門担当)

【第二部 講演&ディスカッション】

加藤直哉(健康増進クリニック 副院長、YNSA 学会 副会長)

山口貴也(山口醫院 院長)

細田俊樹(聖光会病院 内科)

佐久間郁行(大網白里市立国保大網病院 院長補佐)

モデレーター：川嶋朗



1月24日(水) 13:00-14:00 セミナー会場 E

分子栄養療法が創る健康な日本 ～オーソモレキュラー医学最前線～

柳澤厚生(国際オーソモレキュラー医学会 会長、日本オーソモレキュラー医学会 代表理事)

世界中で実践・研究されている、認知症、癌、自閉症、鬱、慢性疲労など、さまざまな疾患に対する分子栄養療法＝オーソモレキュラー医療のアプローチを解説。4月の世界大会(東京)のプログラムや、レストラン事業など新しい産学協同の取り組みも紹介します。

最新の出展社情報、セミナー情報は、展示会ウェブサイトに掲載しています。取材を希望される場合、事務局までお問い合わせください。

※会期中取材の際は、プレス受付(西4ホール前)にてご登録ください。

お問い合わせ先：UBMメディア株式会社 統合医療展事務局
太田、中西／ TEL. 03-5296-1009